

平からくり：基本的な火縄銃の構造

平からくりは最も基本的な火縄銃である。平からくりのゼンマイは、鉄や真鍮の単純な U 字型の金属で、からくりの外側に取り付けられている。バネとサーペンタイン・アームは、トリガーに取り付けられた「シア」と呼ばれるレバーによって張力が維持されている。引き金を引くとシアが解除され、銃のサーペンタイン・アームとそれにつながれている火のついた火縄が火皿に接触し、点火される。この火薬が銃身内の主砲を発火させ、弾を発射させるのである。

16 世紀の戦いで使われた鉄砲は、ほとんどが平からくりであった。このからくりは簡単で比較的安価に作ることができたが、繰り返し使用するうちにバネが弱くなる傾向があった。